

計画修正箇所一覧

<推進計画（案）の修正案>

頁	行革推進委員会・庁内公募等の意見	本部会議（部会・幹事会）検討	修正案
全	字句修正 【庁内意見公募】	全体通して軽微な字句修正（内容に影響なし）	
3	「1 情報共有の推進」「①誰一人取り残さない情報共有の推進」のLINEは正式名称で示した方が良いのではないかと。 【庁内意見公募】	取組内容の文言を修正する。	「市民が自ら選択した情報が直接届く『市LINE公式アカウント』の活用、～」 ※指標も同様に変更
	「②市民参加手続きの認知度向上」は、取組方針である「2 市民参加機会の充実と協働の推進」のうちの「市民参加機会の充実」にの部分についての取組みであると思われるが、その内容は「認知度向上に努める。」とされており、取組方針とずれているように感じる。 【幹事会意見】	・大綱の取組方針には、「・・・より多くの市民の声を反映する機会の充実を図ります。」とされていることから、認知度向上に努めた結果、より多くの市民の声を反映できることを目指している取組であるということが説明できれば良い。 ・「市民参加機会の充実」には、手続きの種類を増やすことだけではなく、市民にその内容を知ってもらうことも含まれている。 ・認知度向上に努めた結果が、取組方針の推進に資する内容であるということが分かるような表現にしたい。	【取組内容】 「市民が主体となったのまちづくりを進めるため、市民が意見を伝える場となる意見公募（パブリックコメント）や審議会等における委員公募市民公募委員への参加など、様々な市民参加手法の認知度向上に努める、より多くの市民の声を市政に反映する。」
	「2 市民参加機会の充実と協働の推進」「②市民参加手続きの認知度向上」の「市民公募委員への参加」という表現に違和感がある。 【庁内意見公募】	取組内容の文言を修正する。	

(裏面へ続く)

4	<p>「3人材育成の充実」「⑥災害対応能力の向上」の指標1について、初期値が0%であるのは、これまで訓練を誰も受けていないように見えるため、前計画の実績をリセットしたことを付記してはどうか。</p> <p>【庁内意見公募】</p>	<p>指標の表の下に、注釈を付記する。</p>	<p>「※従前の訓練実績に関わらず、計画期間のスタートに合わせて初期値を0%とした上で、5年間で100%を目指す。」</p>
	<p>「4働きやすい環境づくり」「⑨多様な働き方の推進」の取組内容について、コロナ禍で実践されたスタイルでもあるため、「テレワーク」も事例として入れても良いのではないか。</p> <p>【庁内意見公募】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「出勤時間等」には、テレワークのほか休暇制度なども含まれており、全体的な課題として検討していく予定である。 ・現在も検討中であり、計画策定までの検討の経過によっては、表現の修正もあり得る。 	<p>修正なし</p>
5	<p>「5効率的な組織体制」「⑩定員管理方針に基づいた実稼働職員の確保」では、例えば「短期の出戻り再雇用」（現状の再任用制度ではなく、退職した元正職員を、再度期限付きの正職員として再雇用する）などを研究・検討しているのであれば、そのような具体的な事項も例として入れても良いのではないか。</p> <p>【庁内意見公募】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他市の動向については把握しているが、現時点で具体的な手法については提示するのは難しい。 ・「意欲と能力のある多様な人材の採用に努める」という言葉に包含されるため、修正は不要と考える。 	<p>修正なし</p>

6	<p>「6 窓口サービスの向上」「14 公金収納における電子決済導入の検討」について、既に検討する段階ではなく実施する段階であると思われるので、取組項目・取組内容・指標を前向きな表現にしても良いのではないか。</p> <p>【庁内意見公募】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 税金や保育料等の電子決済は順次進める予定だが、窓口の証明手数料等はこれから複数課にまたがって検討する段階。 市の公金の全部ではなくとも、一つずつでも導入していけるのであれば、表現を前向きにしても差し支えない。 	<p>取組項目：「14 公金収納における電子決済の導入」</p> <p>取組内容：「～電子決済など、時代に即した公金収納の手法を順次導入する。」</p> <p>指標：「電子決済の導入」として修正する。</p>
7	<p>「7 業務効率化の推進」「16 庁舎建て替えに伴う保存文書の取扱いの検討」の取組内容に、「保存」と「保管」が使われているが、統一しないのか。</p> <p>【庁内意見公募】</p>	<p>取組内容の文言を修正する。</p>	<p>「～保存文書の削減や電子化など、効率的な文書の管理保管に努める。」</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> 「8 財源の確保」「17 市税やふるさと納税など財源の確保」の指標2「ふるさと納税の件数」について、現計画の金額から件数になったが、取組内容から見て疑問が生じる。 何を意図して実施するかは重要であり、その目的に応じた指標とするべきではないか。 他市への流出分とふるさと納税の収支が大事になる。 <p>【行革推進委員会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税との名称だが、あくまでも寄付行為であり、市の目的は、シティプロモートの一環として市の魅力を伝えて江別のファンを増やすことである。 指標を金額としてしまうと、金額を増やすことだけが目的になってしまうため、市の本来の目的とは乖離してしまう。 件数のままにするとすれば、取組内容の文章を一部修正した方が良い。 金額については、指標として提示するのではなく、取組の結果報告の中で分かるように示していく方法もあり、補完できると考える。 	<p>「～ふるさと納税の件数を増やすなど、市税以外の財源の確保に努める。」</p>